

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人
小羊学園

〒433-8105
静岡県浜松市北区三方原町 2709-12
電話：053-584-3337 FAX：053-585-8488
E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp
H.P http://www.kohitsuji.or.jp/
発行人：稲松 義人
印刷所：アド・アール株式会社
定 価：一部 30円



2017年 5 月 20日
第**407**号

創立を記念し

「平和」を祈る

理事長 稲松義人

1945年に太平洋戦争で敗戦して以来、日本は、他国と直接「戦争」とはなかつた。70年にわたって一国として戦争や武力による国際紛争を経験していないことは、案外めずらしいことなのかも知れない。報道を通じて「有事」を想定した議論を聞かされても、これまではあまり現実味のあることと思えなかつたような気がする。しかし、このところ、北朝鮮をめぐる関係国間の駆け引きは、「有事」が具体的な事として「緊張」を感じている。

自分が戦争に巻き込まれて生命の危険にさらされることは、誰でも避けたいと思つているだろう。遠い昔はどうだったか分からぬが、今の時代、自国の一方的な理由で「侵略戦争」をする国はないのではないだろうか。戦争をするときは、誰でも相手が悪いから戦争をやむをえないという論理に立つ。先に攻撃をしかけられたら、反撃に出る方は、相手が先に手を出したという事で、報復することは正当だといふことになる。

戦争が終わつたあと、どちらが正しかったかという議論になると、歴史的な検証によって戦争がはじまるまでのプロ

セスについてふり返ることはあるかもしれないが、当座は、勝利した方が正しいということでは決着が諮られる。しかし、本当に「強い」方が「正しい」のだろうか。実際に戦争になったときに犠牲者となるのは、その多くが「弱い」人たちであると思う。暮らしを守るために働いていた人たちは戦争に借り出され、生活の糧を失われていく中で、我慢を強いられるのは子どもであり、それを育む母親であり、障がい者や高齢者である。為政者たちは、戦争に力を注ぐために、市民たちから生活を奪つていく。「国を守るために」「国民の生活を守るために」と説きつつ、生活を奪つていく。きつと戦争の相手国でも、同じようなことが起こり、弱い人たちが、貧しい人たちの生命と生活が奪われているのではないかと想像する。

日本人が「戦争をしない」と日本国憲法で誓つたのは、国民全体でそのことを痛感したからである。しかし、「どんなことがあつても二度と戦争はしてはいけない」と自らの体験から語る人たちは既にかかりの高齢者である。75歳以下の人たちは、戦争の実体験の記憶はほとんどないだろう。

小羊学園の創立者山浦俊治も自らの戦争体験がその後の人生に大きな影響を受けた一人である。終戦のときに18歳であつた彼は、軍国時代に育つた一人の少年として、きつと価値観の喪失を体験したのであろう。戦後、熱心に反戦運動に

関わつた時期もあつたようだが、反戦運動をする者たちが主張の違いから激しく対立する現実を経験する。その後、最重度の障がい児を受け入れる施設小羊学園の創立にあつて、山浦は「小羊学園は平和運動です」と主張する。「弱い人」を大切にすること。最も弱い人の発想に立つてものごとに取り組むときに、誰かを攻撃する、戦いを正当化するということは考えられない。

今年も4月29日、三方原スクエアで小羊学園の創立感謝祭が催された。いつものように短い記念礼拝のあと、集まつてくださった利用者のご家族、旧職員とその家族、地域のボランティアの皆さんと、食事をともにし、楽しく語り、一緒にアトラクションを楽しんだ。決して贅沢なイベントではないが、しばし「安らぎ」を感じられるときである。人は、「安らぎ」を感じられるときに友好的であり、悲観的にならず、攻撃的にならない。

そういえば、生後8ヶ月の我が家の孫は、いつも忙しくて出会うことの少ないジイジには人見知りになつてくれないう。きつと「緊張」する存在なのだろう。それでも、母親に抱かれて安心感のあるときには、笑顔を見せてくれる。

時間をかけて、緊張が和らぎ、よい距離感のなかで「笑顔」で国際交流できることを心から願つて止まない。

2017年度 社会福祉法人 小羊学園

辞令交付式 および 新規採用職員紹介

今年も小羊学園に10人のリフレッシュな仲間が加わりました。すでに各施設で働き始めていますので、お顔をあわせたら気軽にお声かけください。

辞令交付式

4月1日(土)に支援センターわかぎ会議室にて2017年度社会福祉法人小羊学園辞令交付式が執り行われました。浜松地区採用6名・静岡地区採用4名、併せて10名の新採用職員が、ライフワークとして小羊学園で働き始めます。

辞令交付式は、小羊学園の愛唱歌「ひかりひかり」の賛美から始まりキリスト教礼拝によって執り行われました。聖書はマタイによる福音書18章12節〜14節「迷える小羊のたとえ」を朗読しました。その後、新職員ひとり一人に辞令を交付いたしました。引き続き、法人理事長から「小羊学園・創立の心」と題し式辞が述べられました。式辞では小羊学園の創立は神様の御業によってなされたこと、社会的な弱さにある人のためになされたこと、聖書では人間誰しもが弱さを持つていて私たち自身も迷える小羊で

あること等が述べられました。そして、これから小羊学園の各施設で働く中で障がいのある人に寄り添える職員であってほしいと述べました。



式典終了後は、午前中に支援センターわかぎ・グループホームひまわり／カトレアを見学、続いて交流を兼ねた昼食を摂りました。



午後は、会場を三方原地区に移しました。聖隷歴史資料館を訪ね、小羊学園のブースを見学し、小羊学園の歩みや開設当初の資料を眺めました。その後、三方原スクエア・グループホーム温心寮を見学して、全体プログラムを終えました。静岡地区職員は、帰路の都合もあり解散となりましたが、浜松地区の職員は、その後各施設でオリエンテーションを行いました。

当日は1名の新職員が体調不良で欠席となりましたが、小羊学園の一員として各施設／各部門で活躍する若い職員にご期待ください！



新職員に聞きました！

- ① 年齢
- ② 採用年月
- ③ 配属施設／部門
- ④ 職種(保有資格)
- ⑤ 特技
- ⑥ 意気込み

【中岡 大志 ナカオカ タイシ】



- ① 41歳
- ② 平成29年3月1日
- ③ 支援センターわかぎ・男性棟
- ④ 生活支援員
- ⑤ 前職は建築住宅関係に携わっていたので、そちらの方面に少し明るいかも。
- ⑥ 自分も含め関わる方と笑顔でいられる関係を作りたいです。よろしくお願います。(〃)

【山口 沙友美 ヤマグチ サトミ】





【梅村 侑香 ウメムラ ユカ】

- ① 23歳
- ② 29年3月1日
- ③ つばさ静岡 調理部門
- ④ 調理師(調理師)
- ⑤ スポーツ全般得意です。釣りが大好きです!
- ⑥ わからないことだらけですが、先輩の技を盗み、どんどん自分のスキルを上達できるように頑張ります。



【漆畑 裕介 ウルシバタ ユウスケ】

- ① 29歳
- ② 29年3月1日
- ③ つばさ静岡 栄養部門
- ④ 管理栄養士(管理栄養士)
- ⑤ おいしいお店、おしゃれなお店(カフェなど)を調べることに!
- ⑥ 毎日、笑顔を絶やさず頑張ります。よろしくお願ひします。



【佐藤 栞菜 サトウ カンナ】

- ① 20歳
- ② 29年4月1日
- ③ 三方原スクエア 成人部
- ④ 生活支援員(介護福祉士)
- ⑤ 走ること、体を動かすこと
- ⑥ 今年の3月に専門学校を卒業しました。わからないことも多いですが、一生懸命頑張っていきたいと思ひます。



【河井 伸一 カワイ シンイチ】

- ① 20歳
- ② 29年4月1日
- ③ 三方原スクエア 児童部
- ④ 児童指導員(保育士)
- ⑤ 運動すること/テニス
- ⑥ 利用者の皆さんとの信頼関係を大切に頑張ってきたと思ひます!



【野末 阿華里 ノズエ アカリ】

- ① 21歳
- ② 29年4月1日
- ③ 支援センターわかぎ 男性棟
- ④ 生活支援員(保育士)
- ⑤ バレーボール
- ⑥ 利用者の気持ちをおくみ取り、利用者の想いに寄り添った支援ができるよう頑張ります。



【池谷 優希 イケガ ユウキ】

- ① 18歳
- ② 29年4月1日
- ③ 三方原スクエア 成人部
- ④ 生活支援員
- ⑤ バレーボール
- ⑥ 何事にも負けず一生懸命頑張ります! よろしくお願ひします。



【兵藤 美恵子 ヒョウドウ ミエコ】

- ① 22歳
- ② 29年4月1日
- ③ つばさ静岡 あかね
- ④ 生活支援員(保育士)
- ⑤ バスケットボール
- ⑥ 何事もあきらめない
これから、つばさ静岡の職員の一員として精一杯頑張っていきたいと思ひます。



【安藤 真由香 アンドウ マユカ】

- ① 20歳
- ② 29年4月1日
- ③ 支援センターわかぎ 女性棟
- ④ 生活支援員(保育士)
- ⑤ 水泳
- ⑥ 利用者の方々が安全で充実した日々を送れるよう全力を尽くし、自らの能力向上に努めます。



新職員は既に各施設でそれぞれの業務に従事しています。各施設で新職員研修が企画され、利用者さんの支援や看護、調理業務など、それぞれの専門性を高めるための学びがあります。まだ初々しさが残り照れ屋さんですが、利用者・ご家族・職員の皆さま、どうぞお声掛け下さいね。

- ① 34歳
- ② 29年4月1日
- ③ つばさ静岡 つくしA
- ④ 看護師
- ⑤ 水泳・ピアノ
- ⑥ 一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。

キリスト教障がい者福祉研修会のお知らせ
「キリスト教社会福祉の現場で『命』の意味をどう捉えるか」
 ……津久井やまゆり園の事件から1年をおぼえて……

講師：木原活信氏（同志社大学社会福祉学部教授）
 （著書『弱さ』の向こうにあるもの）他多数

日時：2017年7月27日（木）13:30～17:00
 7月28日（金）9:00～12:00

場所：日本キリスト教団遠州教会
 浜松市中区紺屋町 301-15

主催：日本キリスト教社会事業同盟（当番法人：小羊学園）
 参加費 5 千円（宿泊は各自）、問い合わせ 053-584-3337



法人ホームページ
QRコード

プロモーションビデオ完成

法人では社会福祉の仕事に興味のある方を対象に、小羊学園の魅力伝えるプロモーションビデオの制作を進め、この度完成しました。法人ホームページで閲覧できますので、興味のある方等おられたら、ご紹介下さい。

浜松中区・南区の土地情報下さい

小羊学園では、近い将来に浜松市中・南エリアの拠点整備を検討し始めたところです。しかし、施設整備の財源が厳しい現状です。土地を購入できるゆとりがありません。読者の方やお知り合いで、休閑地等無償で貸与くださる方がおられましたら、ぜひご紹介下さい。

- ・候補地
浜松市中区・南区
- ・土地条件
500坪～1000坪程度
宅地／農地／雑種地問わず
隣接して6m道路
電線・水道管近くにあれば◎
- ・貸与条件
可能であれば無償
貸与期間、固定資産税免除
建物借入金償還後に土地買い上げ交渉可能

○窓

小羊学園法人本部 稲松・池谷
053・584・3337



編集後記

今年の桜の開花は例年になく遅くなり、春の訪れが待ち遠しい感じであった。温暖化の影響で近い将来には桜が咲かない地域も出てくるとか：豊かな四季が日本の風土だけに、環境への影響が少ないことを願う。環境ばかりではない。将来人口推計によると、2053年には日本の人口は1億人を割る見込み。繁栄と衰退を繰り返すのが摂理とは言え、超高齢社会が目前にある日本にとっては社会全体で向き合っていかなければいけない課題。福祉分野の役割が期待されるだけに、私たちの責任も大きい。寒暖の激しい折です。どうぞお身体ご自愛ください。

(F)

小羊学園を支える会

2016年度 寄付金報告

3月 受付分	392,077円 (27件)
累計	7,448,339円 (443件)

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座	00800-8-107785
口座名義	社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行 089店 当座預金	0107785
口座名義	社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。
 小羊学園を支える会事務局（鈴木）
 小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337